

「みんなでつくろう 市民トーク」開催結果（地頭方地区）

1 日時等

- (1) 日 時 令和元年7月25日（木） 午後7時00分～午後8時15分
- (2) 会 場 トーク地頭方
- (3) 内 容 市長による市政情報、質問表、意見交換
- (4) 参加人数 52人



2 地区の希望する市政内容について説明

なし

3 個人からの質問票による意見・質問（19:53-20:15）

(1) 地頭方放射線防護施設について

放射能防護施設の説明会席上で、シャワールームの設置、調理室の拡張等要望したが、検討後どうなったか。

【回答：近藤防災監】

施設を設計した後、国の関係者の点検を受けます。シャワールームの設置については、施設本来の目的からすると難しいです。実際に配慮を要する方が1週間程度滞在をしていただくこととなりますが、その際は、水を潤沢に使えるわけではないので、水のいないシャンプーや体拭き用のシートなどで体の清潔を保っていただくという理屈になります。

また調理施設に関しても、密閉した空間にフィルターを回して滞在しますので、ガスや二酸化炭素を出すような調理器具を多く置くことが難しいということから、フリーズドライのためにお湯を沸かすなど最小限のものしか認められていません。皆さんが平素、料理教室などに使いたいというご要望もあると思いますが、そういった要望に応えられるよう社会教育課で他の代替施設を検討しています。必ずしも100%皆さんの要望に応えられず申し訳ないと思います。

(2) 住宅の高台移転について

大地震により大津波が想定され防潮堤の整備が始まっていますが、この地区で住民住居の高台移転の検討はされましたか。

(例：地頭方小学校の移転・住居の高台移転時の補助等)

【回答：杉本市長】

地頭方地区の津波対策というのは、平成 25、26 年の 2 箇年にわたって地域の皆さんと津波防災まちづくりということで話し合いを持たせていただきました。地頭方地域においては避難路整備をさせていただき、平成 30 年度までにすべてが完了しています。避難施設では避難タワー 9 基、いのち山、防災公園、避難ビルの 12 基を整備、避難路は 20 路線をこれまでに整備し、全体で 54 億余の避難施設を造りました。

防潮堤については、地域の皆さんと平成 26 年から L 1 整備について話し合いをさせていただき、現在 L 1 防潮堤の整備をしています。L 2 の説明会については、平成 31 年 1 月に地頭方地区の皆さんとお話させていただいた中で、まず L 1 をということで整備を進めています。

集団高台移転ということですが、こちらも地域の皆さんがまとまれば、やれないことはありません。小学校を 1 つのベースとして周りの周辺区の皆さんを集団移転させる、または浸水区域の皆さんを高台に移転させる、という事業もあります。その場合、津波浸水区域は危険区域ということで、地域全体を色塗りしなければいけない。また移転した後の土地については、住宅の建築制限が付き、建物が建てられなくなるなどの制約がきます。

多くの地域の皆さんの同意が必要になります。皆が「そうしよう」とまとまれば良いですが、一人二人だと補助の対象になりません。今後、時間をかけて L 2 を検討する中で協議できればと思います。

(3) 平成 34 年度完成予定の相良須々木海岸 L 1 津波対策の防潮堤工事について

現状進捗では完成が数 10 年先と予測される。目標日程のみ先行し、予算・技術面での現実の検討が十分なされた計画とはとても思えない。行政より新たな日程が提示されず、担当の島田土木事務所に質問しても回答がされない。工事開始後 3 年以上経過しているが、市民への直接説明会は L 2 説明会に合わせて一度行われただけで、アナウンスがあまりに少ない。

平成 31 年度に片浜地区の防潮堤工事に着手するとのことであるが、ここは現状高さ 6.2m に対して計画高 6.5m とのことである。30 cm の嵩上げ工事を 3.8 m 嵩上げが必要な須々木海岸工事より優先するのが疑問である。行政としての現状の認識、現状打破のためにどんな新たな行動をするのか教えてほしい。

【回答：杉本市長】

L1防潮堤の説明会は、平成27年度に土木事務所が2回行い、今の東沢川のところから着手することを地域の皆さんと話し合いをしたと聞いています。

平成27年度以降説明がなかったとのことで、毎年繰り返してやる必要があると思います。事業を進める際には、説明会をするよう島田土木に要請をします。

まず地頭方地区からも小学校前をやってほしいという要望が寄せられています。市と土木事務所と協議をした中で、東沢川から地頭方体育館の約600mの所を、令和2年度までに全て完了させる見込みで、令和3年度から地頭方小学校の前の防潮堤に着手すると、土木事務所から示されています。

牧之原の15kmの海岸線は細江海岸が国土交通省直轄の海岸で、静波海岸・鹿島・片浜・相良港付近は県の港湾事務所が管理する海岸です。そして大江・地頭方については静岡県の河川海岸部局が管理する海岸です。また地頭方漁港は市が管理する海岸ということで、管理者が4者おりそれぞれで整備しています。

港湾は今まで何もしてきませんでした。今年度初めて港湾地域も整備します。事業主体が違うということをご理解いただくとともに、早期整備を目指して、整備費もさらに予算付けしてもらえよう、今後とも要望していきます。

(4) 奥の谷のソーラー増設地で発掘された古墳について

古墳公園として整備をお願いしたい。

【回答：内山教育文化部長】

発電に伴う遺跡が出たということで、先日もこの会場で講演会を行いました。今回出た遺跡の位置は、頂上に近い尾根の部分であり、太陽光発電整備のために尾根を切らなければならず、遺跡そのものをそのまま残すということは難しいと聞いています。

また今回出た遺跡の石組の石は砂岩であり、地表に出た時点で風化が始まります。非常に貴重な人骨も出ましたが、人骨についても非常に脆い状態ということで、恒久的に残していくことは難しいとのことでした。

今回、復元を前提とした調査発掘はしていませんが、県内にも、地域にとっても貴重な遺跡だと聞いていますので、公園や復元という形では難しいのかもしれないと思いますが、こうした地域にこういう遺跡があった、ということが何らかの形で残せるような方法を検討させていただきたいと思います。

(5) 海浜公園のグラウンドゴルフ場について

海浜公園にプールがなくなり更地になっています。グラウンドゴルフ場を整備していただき、ぜひ皆が集まりやすい所にしていきたいという考えを持っています。私たち以上の方が元気に動けるようになると、グラウンドゴルフというのがいいスポーツになるかと思っています。

グラウンドに倉庫が一つあります。海難供養祭の盆踊り資材や、グラウンドゴルフの道具が入れてあり、かなり倉庫の中が狭くなっています。

お願いですが、グラウンドゴルフ場の倉庫を別に建てていただくとありがたいです。米寿会の皆さんと少し話をした経緯はありますが、要望として今すぐということではありませんが、お願いできれば有難いです。

【回答：杉本市長】

地頭方の海浜公園ですが、プールを昨年度、防潮堤の関係で撤去しました。老朽化も進んでいたということです。そういう中で国から補償費をもらい、解体費用との差額分、約4,000万円余を海浜公園の整備をするための基金として積んでいます。

今後、私は海浜公園をもっと賑わいの場にしたいということで、地頭方地区の皆さん・沿岸部活性化の皆さんと話し合いをさせていただいているところです。グラウンドゴルフ場は「いつまでも健康で元気な長寿社会」を築くためには非常に重要だと思っています。地域の皆さんのご要望に沿って、全体の整備計画と併せて協議させていただければと思います。

(6) 海浜公園について

海浜公園について要望です。以前はプールがあり何となく公園らしかったですが、プールがなくなり、どこが公園なのか分からない状況で、管理が非常に悪いのではないかと個人的に思います。

せっかくコンクリートで段々に造って、最初はきれいでしたが砂がどんどん寄ってきて、全部埋まってしまう、あれでは海浜公園という名が恥ずかしいです。もう少し頭を使い、砂が流れないようにテトラを入れるなり、維持して安全に泳げるようにして初めて海浜公園だと思います。

難しいかもしれませんが、造ったものが造りっぱなしで管理していないというのが、日本全国で多いと思います。そうならないように、砂を来ないようにしたりして綺麗にしておけば、子どもたちが安全に泳げるし人も来るのではないかと思います。観光資源として、少しやっていっていただきたいと思います。

【回答：杉本市長】

海浜公園はSUP（スタンドアップパドル）の大会もやりましたし、今年も8月3日に砂ASOBeachということでB&G財団に支援をいただきやっています。ブレスト地頭方の皆さんと、活用について話し合いを進めています。公園の海岸部分は水辺で遊べる場所ですし、漁協の建物もありますので、海浜バーベキューなど、いろんな構想があります。今言っていた維持管理も重要ですので、今後の課題とさせていただき、総合的に協議を進める中で、しっかりと管理、整備をしていきたいと思っています。